

【小児科】

令和6年度は村井英四郎、師田和宗の常勤医2名体制で診療を行いました。

一般小児科については、外来・入院ともに、気管支喘息、肺炎、胃腸炎といった一般的な疾患から川崎病、熱性けいれん、アレルギー疾患、尿路感染症など多岐にわたって、当院で対応可能な症例の診療をしています。その他、予防接種や乳幼児健診などの保健活動も積極的に行ってています。

当院では年間200件台後半ほどの分娩があり（令和2年度より柏崎刈羽地区の分娩可能施設が当院のみとなりました）、正常新生児の診察のほか、早産・低出生体重児や新生児一過性多呼吸、新生児黄疸などの新生児の入院管理も行っています。集中治療管理が必要な重症の新生児はNICUのある長岡赤十字病院、新潟市民病院、新潟大学医歯学総合病院などに搬送しています。

専門診療については、村井英四郎がアレルギー専門医であること、プリックテスト・食物経口負荷試験などのアレルギー診療・検査を十分行っていることで、アレルギー学会からの認可があり、令和6年度より「アレルギー専門医準教育研修施設(小児科)」に認定されました。

令和6年度 小児科入院診療実績

分野	人数(人)
呼吸器疾患・感染症(気管支喘息、肺炎など)	201
消化器疾患(胃腸炎など)	8
神経疾患(熱性けいれん、てんかんなど)	8
アレルギー疾患(アナフィラキシーなど)、皮膚疾患	8
食物経口負荷試験	37
免疫疾患・膠原病(川崎病、IgA血管炎など)	12
腎疾患(尿路感染症など)	2
新生児疾患(新生児一過性多呼吸、新生児黄疸、低出生体重児など)	82
COVID-19、COVID-19感染母体より出生した児	9
その他	8
合計	375